

## 清潔野における注射器に準備された薬剤の取り違え

手術・検査等の清潔野において、準備された注射器の識別を誤り、薬剤を取り違えた事例が5件報告されています。

投与すべき薬剤	取り違えた薬剤
ヘパリン生食	オムニカイン
キシロカイン	0.05w/v%マスキン
キシロカイン	オキシドール
オムニパーク	キシロカイン
イソビスト	キシロカイン

### 事例

カテーテル検査において、注射器に準備されたオムニカインとフラッシュ用のヘパリン生食が清潔野に置いてあった。医師がヘパリン生食を投与するところ、オムニカインを投与したため、患者は徐脈傾向となった。最初、医師は、オムニカインが入った注射器に22Gの針を付け、目印として識別していたが、局所麻酔後にシリンジから針を外し、清潔野にシリンジを置いたため、ヘパリン生食が入った注射器と混同した。

- 注射器に薬剤を準備する際は、使用者が直前に準備することを原則とする。
- やむを得ず事前に注射器に薬剤を準備する際は、容易に識別できるように薬剤名を記載したラベルを貼る。
- カラーシリンジを使用するなど、院内で統一し、遵守する。



などの対策が  
考えられます